

## 令和2年7月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

令和2年7月の景況DI値は6月と同様の値となり、引き続き、リーマンショック発生時の水準で停滞している。

一部に新型コロナウイルスの影響による落ち込みから回復傾向にあるとの報告がみられるが、多くの業種においては依然として、需要の低迷、受注の減少、来街者の減少、売上の低迷が続いている等の報告がなされている。

再び新型コロナウイルスの感染者が増加する中、今後も先行きの見えない状況が続くと考えられ、不安要素が増している。

### 山口県の主要指標 DI 値 (令和2年7月末現在)










※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況	( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )
前年同月比は、	好転： 0.0% 悪化： 66.3% DI 値： ▲66.3% ポイント
売上高	( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )
前年同月比は、	増加： 7.5% 減少： 70.0% DI 値： ▲62.5% ポイント
収益状況	( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )
前年同月比は、	好転： 3.8% 悪化： 62.5% DI 値： ▲58.7% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和2年7月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲77.8	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲66.7	▲50.0	▲50.0	▲63.6
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲60.0	▲100.0	▲100.0	▲72.7	▲36.4	▲57.1	▲100.0	▲68.1	▲66.3
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルスの影響により、なかなか売上げが伸びない模様。	調味料製造業
	梅雨は長かったものの昨年のような豪雨はなく、来店客は前年並みである。若干戻ってきつつあるものの、進物、土産需要は低調。盆休暇に期待したいが、コロナウイルスは終息しないので売上予測が立たない。山口県プレミアム宿泊券の効果は今後確認の予定。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	給食の実施日が昨年より増えたため、売上は増加している。	パン・菓子製造業 下関市
	6月の店舗売上合計は対前年比▲14.5%で、臨時休業含む5月▲58.6%に比較して回復してきた。7月は7/26時点で対前年比▲10%程度で推移している。週別売上では7月第一週は対前年▲3%、第二週は▲35%（前年が3連休）、第三週▲6%、第四週は+26%（今年度は4連休）。前年に比較して雨天の日が多いのもマイナスに影響しているとみられる。集客力のある定番イベント「萩の瀬付きあじ祭り（7月5日予定）」の中止もマイナス要因。この4連休期間中も通常の土日程度の売上水準で、萩市内の観光客の姿はまばらであった。首都圏向けの業務用鮮魚出荷はまだ本格的な回復が見られず低調。既に兆しのある感染第2波とその後の第3波が非常に心配な状況。	水産食料品製造業 萩市
	観光業界全体に、新型コロナウイルスの影響が一段と深刻な状況。水産加工業も原料となる原魚の水揚げ減少による高騰のうえ、土産品店等への納入が激減している。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスの影響を受けて、技能評価試験(初級・専門級)が受験できていない実習生がいる。その為「特定活動の在留資格」への切り替えの手続きを行っている。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルスの影響による売上減少が続いている。  今もなお新型コロナウイルスの影響を受けている。7月は贈答品の需要も多く、それに対する売上も前年の70%前後の推移。自粛は解除されたが人の動きが微弱なため、100%の回復にはまだまだの模様。観光地等インバウンドの恩恵は未だに皆無。GoToトラベルキャンペーンで人出は戻りつつあるが、三密防止策の中でテンションが下降気味で、売上は足踏みの状態である。第2波到来の時には、再度行政の融資・給付金・補助金等の支援があるかが今後の鍵で、国の対策・	

	<p>コロナの終息・ワクチンの開発を待つ日々である。少しずつ回復の傾向にあるが、自粛解除の弊害も見受けられるのが不安材料である。</p>	
	<p>新型コロナウイルスの第2波が東京を中心に広まり、自粛ムードが広がり、経済活動停滞の厳しい状況が続いている。今後は、ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行していくための中小企業向けの支援対策を早急に充実させることが必要となる。そのためには、これ以上、新型コロナウイルスが蔓延して、感染爆発をおこさないように、検査体制の拡充、クラスターの早急な把握と感染者の迅速な隔離が必要だと考える。また、今後のコロナ対策に関しては、国民の自主的なソーシャルディスタンス活動による集団免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図ることが必要となる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	5～6月の生産状況と大きな変化はない。回復傾向にはあるが、不十分。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	7月の木材業界は長雨にたたられ、棟上げの延期等で散々な状況。天気は回復するが、今後、新型コロナウイルスの第2波についての不安要素が大きい。	製材業・木製品製造業 岩国市
	売上の対前年同月比は6月同様の20%減程度で、依然回復は見られず見通しの立たない状況。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出の自粛、イベント、会合等の中止の長期化により、多くの業界の各企業体力は削り取られている。緊急事態宣言の解除後、経済活動が再開となったが、東京をはじめとする第2波の現象が顕著になりつつあり、大きな懸念材料である。コロナ終息後の世界は未知数で、売上減少、資金繰り悪化という状況はしばらく続くのではないかと予想される。	下関市
	新型コロナウイルスの影響が大きく、仕事がない状況。印刷物の広告も掲載見合わせや打ち切り、イベントのポスター、チラシ、パンフレットなど各方面からの受注が滞っている。少しずつ回復していた入札等価格の安定も一気に崩れ、以前にも増して過当な価格競争が繰り広げられている。	山口市
窯業・土石製品	<p>出荷量は、 (令和元年7月) 骨材 87%、路盤材 136%、再生材 110% ↓ (令和2年7月) 骨材 88%、路盤材 63%、再生材 70%</p>	砕石製造業
	出荷量は、前月比107%、前年同月比90%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業

	3月に新型コロナウイルスの影響で延期になった仕事 が、移動時の感染リスクが心配だと言う事で再度延期 となった。	石工品製造業
	7/22 から GoTo トラベルキャンペーンが始まり、7/23 ～26 の4連休には多くの観光客で賑わった。客層とし ては、都市圏からの個人客が中心で、20代から40代 の若い世代が多かったように思われる。団体客が無か ったため、例年のピーク時の半分程度といった印象。 平日の観光客は非常に少ない状態が続いている。売上 も依然として厳しく、百貨店や大都市小売店、ギフト 関連の受注も回復せず、前年の50%以下と低迷が続 いている。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生が入 国出来ず、次回受け入れの面接が出来なくて困って いる。	岩国市
	前年同様と言われる組合員が多い中で、かなり仕事 が減ってきたという組合員も出てくるようになっている が、まだ一部であるため、業界の景況としては「不変」 である。しかしながら、顧客の設備投資の見通しがつ かないことから、かなり先行きを不安視している。	下松市
	新型コロナウイルスの影響で受注が減少し残業も減少 しており、技能実習生から不満の声が上がっている。	周南市
	新型コロナウイルスの第2波と思えるほど、関東・関 西・福岡・沖縄で感染者が増加し、山口県でも増加傾 向。大手車メーカーのマツダは8月から生産を再開し たが、中小は今後も生産の継続を祈っている状況。建 設関連は高い水準を維持している。組合内の景気は二 極化しており温度差が大きい。	防府市
	新型コロナウイルスの蔓延による影響から、製造業、 食品加工業において事業縮小が認められ、休業補償を 利用する企業が増加しているが、同一業種でも好調な 企業もありコロナ後を見据え技能実習生の増員を予定 している企業もある。介護、スーパーについては人手 不足感が顕著である。今後の展開は予断を許さないが、 コロナ終息後を見据え、技能実習生、特定技能の受け 入れ増員の要望は多く、リモートでの面接により準備 を進めている。なお、技能実習生の入国、帰国に支障 が生じており研修のスケジュール調整に苦慮してい る。企業においても受け入れのアパートの準備時期に 苦慮している。	宇部市
	新型コロナウイルスの感染終息に目途がつかない中、 良くも悪くも大きな変化はみられない。	

輸送機器	部品入荷の遅れから生産計画のズレ込みと急ぎの生産が出てきている。操業の落ち込みによる受注への影響が有る。半導体は高い作業量水準が継続している。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	前年比売上げ 12%増。新型コロナウイルスの影響なし。	乾物卸売業
	「ふく」はシーズンオフのため動きがない。鮮魚も入荷が少ない。	生鮮・魚介卸売業
	飲料の卸・小売では、自動販売機の売上が極端に落ち込み、撤去もしている模様である。今後も、新型コロナウイルスによる売上減少、収益状況の悪化が懸念される。	各種商品卸売業
小売業	6月同様に客足が伸びていない。メーカー品が売れておらず、ファンデーションなども薄くつけるなど使用ペースが長くなり、買い替えも遅くなる。家賃支援給付金も売上高 30%~50%ダウンの間に入れられない 15%~20%ダウン位のお店が多いようである。資生堂のベネフィークのコンテストも山口県全体で前年比 98%位の達成と頑張った。	化粧品小売業
	農家の超高齢化、昨年の消費税増税の影響、新型コロナウイルス拡大に伴う展示会の開催中止等の影響により、商品の買い控えが見られる。更に、多雨による日照不足により、農作物への影響が懸念され、業界全体に暗い雰囲気がある。	農業用機械器具小売業
	家電の売上は5%ダウン。7月は例年エアコンの販売が伸びるのだが、今年は長雨で良くない。	機械器具小売業
	地方都市では「第2波」が叫ばれ、疑心暗鬼な日常の中で店を開ける状態。決して何一つ改善されていない。	各種商品小売業 岩国市
	5月ほどではないが、商店街への来街者の減少傾向が続いている。	各種商品小売業 周南市
	まだ新型コロナウイルスの影響なのか、商店街への来街者が減少したままなので、各個店からも不安の声が上がっている。	各種商品小売業 下関市
	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、夏のイベント等集客事業が何もないので極めて厳しい状況が続いている。	宇部市
多少の人出がある程度で、売上は6月同様に伸びていない。飲食は、前年同月比 80%から 60%位で、県外客の出入りはあまりない模様。他の業種の売上はあまり伸びておらず、売上の方法を模索されているようだ。	萩市	

サービス業	6月に続いて7月も順調に売上げが伸びていたが、新型コロナウイルスに感染したユーチューバーにより、県内に数名の感染者が出てしまった。月末は、予約を取っているお店では、フルに予約が入っているお店が多いが、これからのキャンセルの可能性を心配しているお店が多く見受けられる。	美容業
	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、良くなったお店と厳しい店もあるのが現状。	理容業
	日本の基幹産業である自動車の新車販売が、山口県内でも大きく落ち込んでいる。特に5月は対前年で54.6%と約半分まで落ち込んだ。特に軽自動車は、対前年45.9%で過去にない落ち込みとなった。6月は、少し盛り返してきているものの、本年度4月から6月の平均で70.2%となっており、新型コロナウイルス感染拡大の影響は業界にとって大きな傷を残しそうである。販売悪化の要因の一つには、自動車メーカーの稼働停止等により、売りたいくても現物が入ってこない、売れない状態になっている。	自動車整備業
	コロナウイルスで被害甚大。入会者が少ない。コロナウイルス次第。	スポーツ・健康教授業
	7月に入ったものの夏祭りなどのイベントはどこも全面中止で、閑散期に入り始めたこの時期において貴重な売上となる「法被や浴衣」のクリーニングがほぼない状況で、厳しい組合員も多い。また、この時期は法事なども多いので、本来ならば礼服類の依頼も多くあるが、新型コロナ感染拡大防止のため少人数開催のケースが多く、礼服の依頼も少ない。各イベントの中止、行動の自粛により、クリーニングで扱う点数が減っており、それが閑散期に入り始め、さらに浮き彫りになっている。今後も先が見えない状況が続くと思われる。	普通洗濯業
	新型コロナウイルスに感染のユーチューバー来県の影響で、1週間営業を自粛した。また、県外のお客様についても、感染拡大地域よりのお客様はお断りをしている。	飲食業
	売上は、対前年同月比20%程度。GoToトラベルキャンペーンも厳しい状況。	旅行業
	各種プレミアム宿泊券での利用拡大で、宿泊人員及び売上が前年同月比6割まで回復してきた。	旅館業山口市
	いろいろなキャンペーンが始まったが、お客様も不安な様子であまり動きがない。団体ツアーも予約は入るが、後にキャンセルされることが多い。7/23～26の連休も初日の宿泊客はあったが、後半は空いていた。	旅館業 下関市

	売上高は前年比12%の減少。飲食部門は撤退、来月からテナントにより開店の予定。浴場部門を週休2日を継続するため、施設利用者が減少し売上高の減少とはなるが、光熱費及び人件費の削減となる。新型コロナウイルスの影響による利用者の減少が続いている。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請127件(当支部104件)、前年同月131件(同102件)。太陽光発電への申請28件(前年26件)、オール電化申請54件(前年78件)。LED街路灯への切り替え・新設申請35件(前年17件)であった。	電気工事業
	コロナ禍で高校新卒者に対する求人が大きく減少している。業界の規模縮小が更に進む。	左官業
	例年、国交省の指示によりお盆等の長期休暇期間等は2週間程度休止する必要もあり、年度当初受注分で忙しく仕事をしている。人手は不足したままだが、暑さ対策、コロナ対策をし、組合員間で協力している。ヘルメット取り付けフェースシールドの斡旋の申し出があったが、組合員は既に対策済みの模様である。	管工事業
	2020年7月上旬には九州熊本を中心に、甚大な豪雨災害が発生している。下旬には、東北においても、最上川の氾濫で大きな被害が出ている。加えて、新型コロナウイルスの感染は終息するどころか、GoToトラベルキャンペーンが始まると同時に、都市部において3、4月のピーク時を凌ぐ感染者が急速に増えている。柳井地区においては、幸いなことに感染の報告はないが、感染予防に最大限の注意と対策を取ることが必要である。従業員に1人でも感染者が出ると、その所属企業の経済活動が停止しかねない。未曾有の危機管理に最大限の努力が求められている。	土木工事業 柳井市
	2年7月の受注高は、対前年同月54.0%。今年度の累計は、対前年比99.0%。	土木工事業 萩市
	土木工事については、大雨による災害もなく、前年並みで推移。	土木工事業 長門市
	新型コロナウイルスの影響で売上が減少。	内装工事業
	例年になく梅雨が長かったため、完成工事高はかなり落ち込んだ。一方で、かなりの降水量があったため雨漏り等の修理依頼が多く、対応に追われたが、瓦工事を伴う新築着工物件が減少しているため、8月以降の新規の仕事量確保に繋げたい。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大手企業や飲食関連にお勤めの方等の収入減が、新規住宅建築意欲の低下を招き、新規着工件数の減少に繋がるのではと危惧している。	屋根工事業

	手持ち工事量は確保しているものの、秋以降や来年以降の見通しが立たず不安を感じている組合員が多い。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	輸送関係は、月毎に新型コロナウイルスの影響が強くなり、輸送量は対前年同月比約 50%減少。国内向け近距離輸送（下松地区）も全般的にみて約 50%減少。輸出は0に等しい。中小零細輸送業は倒産に等しい状況にあり、1日も早い新型コロナウイルスの終息を願うばかりである。燃料費は8円の値上げ。組合の需要量が激減したので、7月に入ってから1日か2日おきの納入になっている。	一般貨物自動車運送業 下松市
	組合自体の売上は 9%程度の増加だが、輸送取扱高（組合取扱い）については 60%程度の減少。組合自体への影響は少ないが、組合員にとっては非常に厳しい状態にある。修繕費等がかさみ厳しい面もあるが、幸い保管庫業務は安定している。	一般貨物自動車運送業 防府市
	新型コロナウイルスの影響により、特に工業製品の荷動きが低調である。大型の荷物が減り、小さいサイズ、ロットの荷物が多くなっている。当組合は主に B to B の業態なので厳しい面が大きい。倉庫保管の案件は安定している。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比 ▲ 5 0.2%（令和2年6月1日～令和2年7月20日分）。6月1日～30日分は▲ 5 2.4%、7月1日～20日分は▲ 4 6.7%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市地域。6月分については、周南▲ 5 2.3%、下松▲ 5 6.1%、光▲ 5 1.0%、防府市地区が▲ 5 3.0%で、組合員の全域では▲ 5 2.8%、地区外（員外）▲ 4 6.7%（5月分が6月に到着受託）、合計▲ 5 2.4% ▲11,327千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが同額（前月335.0\$/トンが今月335.0\$/トン、前年385.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油は上がり（前月270.0\$/トンが今月350.0\$/トン、前年385.0\$/トン）。為替は円安（前月108.35円/\$が108.55円/\$）。燃料単価は前月と同額になったが、前年6月分比は▲ 3.2%と下がっている。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しているが、新型コロナウイルスの影響で需要が激減。乗務員募集は中断する所もあるようだが、将来の景気回復を見据えて、休業補償等で、人員確保に苦心しているような状況。非常事態宣言が解除され、少しずつ、企業の出張移動、会合などが動き始めているようだが、まだ前年比：▲ 4 7%。特に夜間の飲食関係はまだまだ時間がかかりそうに思われる。県内の感染者がしばらく発生してい	一般旅客自動車運送業



	なかったが、ユーチューバー事件や GoTo トラベルキャンペーンもあり、感染拡大が大いに危惧される。	
	7月の取扱高は、対前年比で若干増加している。	港湾運送業
その他	新型コロナウイルス感染症の影響が、医療・介護関係の組合員にも多かれ少なかれある模様だが、新施設をオープンした組合員もある。今回の件で今後の諸外国の外国人技能実習生受入に際し、心配されている部分もあり組合としても慎重に対応を進めているところ。	介護事業